

▶ 終章

# ポスト「冷戦後」の日韓・日朝経済関係 ——経済安保の展開と未来創造

日本経済研究センター 首席研究員

伊集院 敦

## 【ポイント】

- 第2次世界大戦後の日本と朝鮮半島の経済関係は、北東アジアの安保環境の変化とともに歩んできた。国交が樹立された日韓の間では冷戦期に経済協力を活用した間接的な安保協力が行われ、外交関係が結ばれなかった日朝の間では政経分離による経済交流が始まった。
- 冷戦後の日韓関係では、安保環境の変化に対応した北朝鮮政策の調整のほか、中国を含むアジア太平洋地域や地球的課題での協力が模索された。経済格差の縮小に伴って日韓間の競争も強まった。日朝の間では国交正常化交渉が始まったが、核開発や日本人拉致の問題が浮上し、北朝鮮に経済制裁が科せられるようになった。
- ポスト「冷戦後」のアジアは米中の大国間競争による分断のリスクが浮上し、北朝鮮との懸案解決の道のりも複雑さを増した。新たな時代に対応するため、日韓の間では防衛問題のほか経済安保やエネルギーなどの共通課題をめぐる協力の検討が始まった。豊かで平和な未来を創造するため、日本はチャンスとリスクが共存するアジアとの向き合い方が改めて問われる。



## 時代ごとの日韓・日朝経済の主要課題

	日韓経済の主要課題	日朝経済の主要課題
冷戦期	経済を通じた安保協力	政経分離の経済交流
冷戦後	対北朝鮮と広域での協力 競争激化と経済摩擦	国交正常化の模索 核・拉致での経済制裁
ポスト冷戦後	経済安保、共通課題協力 分断リスクの低減	懸案解決と交流再開 平和と発展の基盤整備

資料：筆者作成